



TRIPLE METHOD

PREMIUM TRADING EA

自動売買EAシステム導入マニュアル
【セットアップ編】

DEVELOPED BY TEAM CHART LAB

【著作権及び免責事項】

○推奨環境

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。
できない場合は下記よりAdobe Readerをダウンロードして下さい。

<https://get.adobe.com/jp/reader/> (無料)

○著作権について

当EAシステム並びに当マニュアル(以下、本著作物という)は、著作権法に保護されている著作物です。本著作物の著作権は、EA開発者及び作成者に属します。著作権者の許可なく、本著作物の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。本著作物の開封をもってこれに同意したものとみなします。

○免責事項

本著作物でご紹介する内容は、個人の運用による分析の結果、方法論化、数値化されたものであり、あなたの利益を保証するものではなく、投資および購入の判断に関しての助言を行うものではありません。

また、本著作物に書かれた情報は、作成時点での著者の手順並びに見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

本著作物の作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。本著作物を利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。本著作物の開封をもってこれに同意したものとみなします。

もくじ

TRIPLE METHODシステムロジック概要.....	3
資金管理と設置する時間足について.....	10
パラメーター項目の解説.....	11
バックテスト結果について.....	16
稼働する上での注意点について.....	17

TRIPLE METHODシステムロジック概要

当システムは、両建て手法にピラミッティングとナンピンマーチンを融合させ、**3種類の決済パターン**を搭載したロジックを持つEAです。

従来、ピラミッティングとナンピンは相反する手法ですがこれらに両建てを組み合わせ、エントリーしたポジションに対して**順行すればピラミッティング**を行い、**逆行すれば従来通りナンピン**で追撃するといったロジックとなっています。

また、決済方法については、設定金額に対して基本的に両建てによる全決済となりますが、両建てポジションが増えてくると、中々決済しないといった現象に陥るため順行している片側のポジションを先に決済してしまいます。

その後、決済されていない方のポジションがナンピンしていく中で一旦片側決済した方のポジションも際エントリーされ、相場次第でナンピンによる片側決済もしくはロングとショートの全てが決済となります。

なお、この決済方式は、その都度、決済金額に基づいてどの決済が最適かを自動で判別して実行されるようになっています。

さらに、ボラティリティの高さを検知するボラティリティ警戒モードを搭載してボラが高くなった際のナンピン幅を変更できる機能を新搭載しました。

これにより、戦争や米国の経済政策、地政学的リスク時にもなるべくリスクを抑えた運用ができるようになるはずです。

それでは、当システムの挙動について見ていきたいと思います。

■両建てstop注文によるエントリーの基本挙動と利確について

まずは、エントリー条件に基づいてロングとショートそれぞれでstop注文が入りますので約定したポジションの方向に順行して含み益が決済金額に到達すると、逆側のstop注文を残したまま利確してstop注文はキャンセルとなります。



■複数ポジションが約定している状態での一括全決済について

次にロングとショートが複数エントリーしている場合の決済パターンですが
 このパターンの場合、それぞれのポジションによる含み損益の合計が
 決済金額に到達した場合にロング・ショートの全ポジションが一括全決済されます。

このパターンが起こるのは、ポジション数で言うと約1:2で
 合計のロット数の比率が約1:3の場合に起こることが多いです。

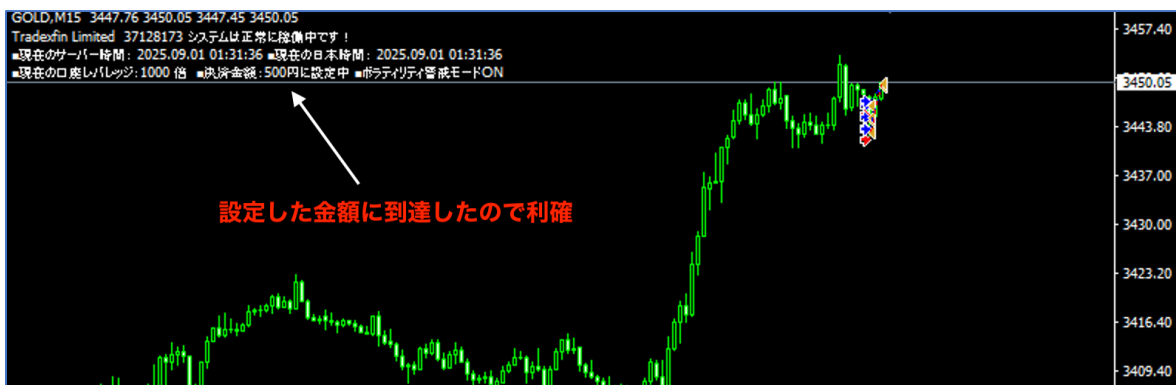


例えば、上記のようなエントリー構成になった場合です。

ロング 0.02ロット
 ロング 0.01ロット
 ショート 0.01ロット

ロング2ポジ 合計0.03ロット：ショート1ポジ 合計0.01ロット

この状態というのは、初期エントリーポイントでロングとショートがどちらも約定し、その後上昇してピラミッティングエントリーされた状態になります。



もちろん、基準となる決済金額を増やせばそれらの比率は変わってきますがデフォルト基準の決済金額であれば、殆どの場合、この比率に落ち着くことが多いです。

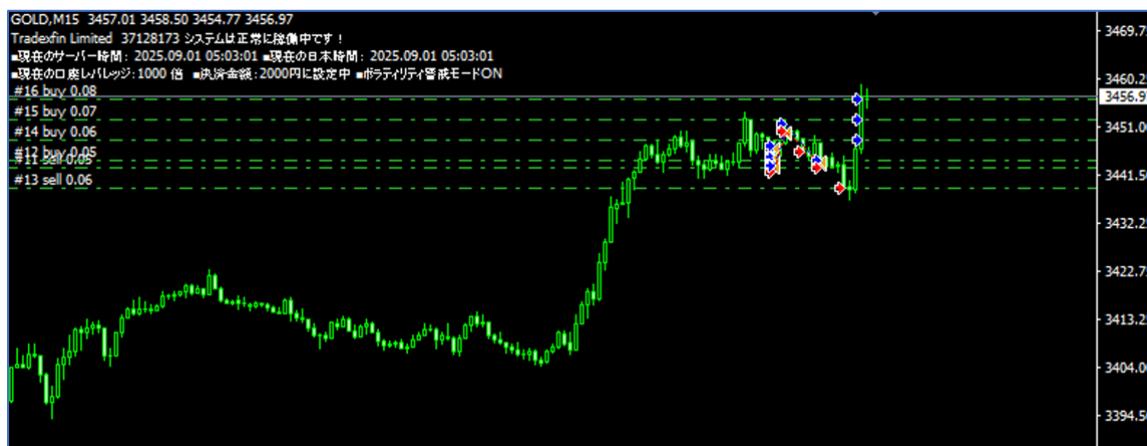


もう少しポジション数が増えてきたとしても、エントリー済みのポジションの合計が決済金額に到達すれば、一括全決済が実行されます。

これが1パターン目のロング・ショート一括全決済になります。

■設定しているポジションエントリーによる片側決済について

片側のポジション数がパラメーター項目の『片側決済実行ポジション数』になった場合は該当のポジションが片側決済を実行します。



このパターンの場合、上図のように初期段階で両方とも同じくらいの数のポジションを持っている中、急に方向性がついて上昇または下落した時に起こります。

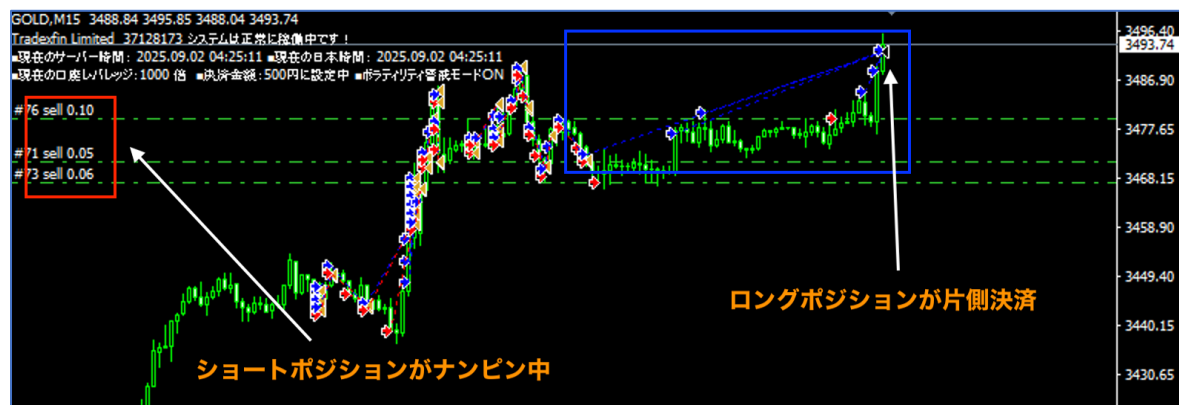
エントリー初動から一方的に上昇または下落することでも起こります。

基本ロジックが両建てになりますので、同じ数のポジション数を持っていたとしてもいつまでも決済されないといった状況を打破するための決済パターンになり、3種類の決済パターンの中で最も利益が爆益になる決済パターンです。

デフォルト設定では、6ポジ目がエントリーされた時点で片側決済が実行されます。

■片側決済後の基本挙動について

片側決済が実行されると、逆側のポジションは残ったままとなり
両建てではなくナンピンによる一括決済の状態となります。



buy	79	0.10	3492.80				
close	79	0.10	3492.42			-574.96	2514931.19
close	78	0.09	3492.42			4943.13	2519874.32
close	77	0.08	3492.42			9235.66	2529109.98
close	75	0.07	3492.42			11700.41	2540810.39
close	74	0.06	3492.42			13660.24	2554470.62
close	72	0.05	3492.42			14417.20	2568887.82

合計で53,381円の利益

例えば、上図の場合はロングポジションが片側決済されて、ショートポジションがナンピン中の状態になっており、この時の利益は爆益になります。

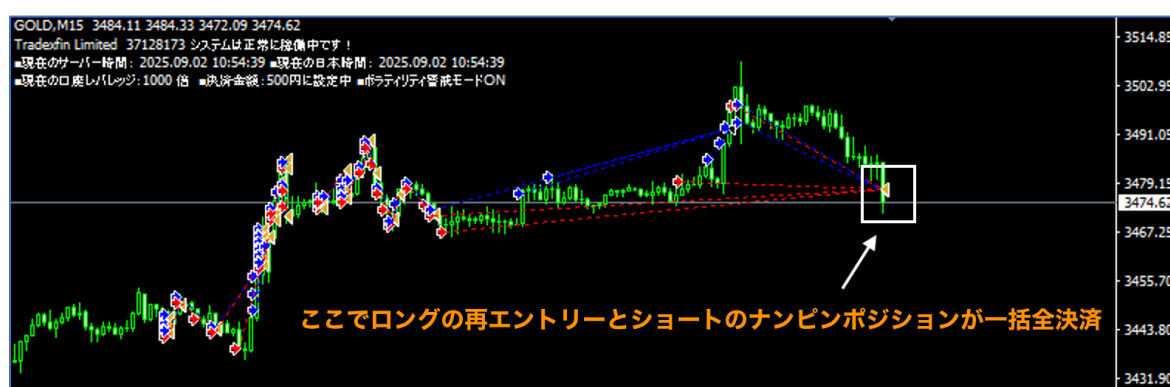
その後、片側決済した方の再エントリーは、レートが一番ロットの大きなナンピンポジションよりも初期ポジション側になるとエントリーされます。



例えば、ロングの場合で考えると、ショート側の一番ロットが大きなポジションというのは上図のように一番上のポジションになるわけですが、そのポジションよりも低いレートになると再エントリーされます。

ショートの場合は、この逆となります。

こうすることで、ロングのエントリー位置とショートのエントリー位置が近くなるのでロングとショートで一括全決済になる可能性が高くなり、一括全決済されることで最初の**両建てstop注文によるエントリーの状態**に持っていきます。



このように、再エントリーされたロングポジションとナンピンしていたショートポジションが同時に一括全決済されます。
もちろん、ロングとショート合計で決済金額に到達しそうにない場合、ロングのみやショートのための通常のナンピン一括決済になるケースもあります。

一連の動作としては、これで1サイクルとなり、次回からは最初の**両建てstop注文によるエントリー**となります。

■ナンピンによる一括決済について

片側決済後に逆側のポジションは、通常はナンピンの一括決済となり、特にポジション総数が多い場合にこのパターンになる傾向にあります。

これが3つ目の決済パターンとなり、片側決済後の逆側のポジションに適応されますが片側決済した側の再エントリーポジションが少ない場合では再エントリーポジションを含めて同時に一括全決済を実行するケースもあります。

■ボラティリティ警戒モードの基本挙動について

稼働している通貨ペアを対象にボラが高くなったことを検知して
ナンピン幅を変更できる機能を実装しました。

また、検知レベルを調整できるよう発動レベルを1～5段階で設けており、
デフォルトでは中間の3としています。

このボラティリティの感度については、ATRやRVIなど複数のインジケーターを
組み合わせて、内部処理でそれらの数値を定義化して割り出しています。

なお、警戒モードをオンの状態では、**両建てstop注文によるエントリーではなく
ロング、ショートそれぞれ別々のロジックにより片側のエントリー**になり、
基本的には片側決済またはナンピン一括決済にて攻防していきます。

その中で、警戒モードがオンの時限定の**シークレット爆益決済**という
決済パターンを設けました。

このシークレット決済というのは、警戒モードがオンになっていて、
パラメーターの『片側決済実行ポジション数』に満たないポジション数で
すでに**含み益が決済金額の50倍になった時に発動**される決済です。

含み益が決済金額の50倍というのは具体的にどれくらいかということ
公開デモの場合でいえば、3ポジの状態だと決済金額は500円なので25,000円、
4ポジだと1,000円なので50,000円、5ポジだと1,500円になるので
なんと75,000円もの利益になるということです。

もちろん、相場形成によるポジション取りによってシークレット決済が
発動されることもあれば、そうなる前に片側決済になることもありえます。

ですので、あくまでポジション取りによる含み損益次第になってしまいますが
このような**裏技的な決済パターンも実装**されています
このパターンで利確できればラッキーだと思って頂けたらと思います。

当システムの大まかな挙動並びにロジック解説は以上となります。

運用資金とロット数の目安について

■稼働可能な口座種別の条件

【取引プラットフォーム】 MT4専用

【口座の基本通貨】 JPY（円建て）口座・USD（ドル建て）口座

【口座タイプ】 基本的に全口座タイプに対応

【レバレッジ】 400倍以上が理想

【推奨時間足】 15分足チャート

基本的には海外FX会社であれば、ほとんどの会社に対応可能です。

なお、ロット数に応じて下記の表を参考に決済金額とナンピンエントリー加算ロットの変更をお願いします。

■運用資金とロット数の目安

◇スタンダード口座運用（1ロット=10万通貨）

初期エントリーロット設定	推奨証拠金の目安（ボーナスを含む）	ナンピンエントリー加算ロット数	決済金額
0.05ロット	2,500,000円	0.10ロット	500円
0.04ロット	2,000,000円	0.08ロット	400円
0.03ロット	1,500,000円	0.06ロット	300円
0.02ロット	1,000,000円	0.04ロット	200円
0.01ロット	500,000円	0.02ロット	100円

◇マイクロ口座運用（1ロット=1,000通貨）

初期エントリーロット設定	推奨証拠金の目安（ボーナスを含む）	ナンピンエントリー加算ロット数	決済金額
0.9ロット	450,000円	0.18ロット	90円
0.8ロット	400,000円	0.16ロット	80円
0.7ロット	350,000円	0.14ロット	70円
0.6ロット	300,000円	0.12ロット	60円
0.5ロット	250,000円	0.10ロット	50円
0.4ロット	200,000円	0.8ロット	40円
0.3ロット	150,000円	0.6ロット	30円
0.2ロット	100,000円	0.4ロット	20円
0.1ロット	50,000円	0.2ロット	10円

*各数字はあくまで大まかな目安であり、100%安全であるという保証はありません。

パラメーター項目の解説

当システムは、スタンダード口座（1ロット＝10万通貨）やマイクロ口座（1ロット＝1000通貨）、また円建て口座だけでなくドル建て口座など一般的な海外証券会社の全口座に対応しております。

また、どの口座においても数値の桁数等を変更することなくそのままご使用頂けますが公開デモと同じ数値比率で稼働したい場合は、**ロット数、決済金額、ナンピンエントリー加算ロット数を同比率に変更**してご使用下さい。

それでは、当システムのパラメーター項目の解説に入っていきます。

Expert - TRIPLE METHOD	
バージョン情報 全般 パラメーターの入力	
変数	値
ab --- トレーディング全般設定 ---	--- トレーディング全般設定 ---
1/2 初期エントリーロット設定	0.01
1/2 複利機能ON/OFF (trueがON)	false
123 証拠金ステップ金額 (円)	500000
1/2 Exness : XAUUSD設定 (使用する場合はtrue)	false
123 最大ポジション数 (初期ポジションを含む合計数)	15
123 スリッページ(point)	30
123 マジックナンバー	20251023
ab	
ab --- ピラミッシング・ナンピン：エントリー幅/加算ロット設定 ---	--- ピラミッシング・ナンピン：エントリー幅/加算ロット設定 ---
1/2 ピラミッシングエントリーの間隔(pips)	40.0
1/2 ピラミッシングエントリー加算ロット数	0.01
1/2 ナンピンエントリー幅(pips)	60.0
1/2 ナンピンエントリー加算ロット数	0.02
1/2 現在レートからの距離(pips)	5.0
1/2 注文発注スプレッド上限(pips)	6.5
ab	
ab --- 利確設定・片側決済設定 ---	--- 利確設定・片側決済設定 ---
1/2 利確決済金額 (円)	100.0
123 片側決済実行ポジション数	6
ab	
ab --- トレード補助機能設定 ---	--- トレーディング補助機能設定 ---
1/2 プライスアクション型変則ナンピンエントリー	true
123 ボラティリティ警戒モード発動レベル【1:低め/5:高め】	3
1/2 ボラティリティ警戒時ナンピン幅の倍率	3.0
ab	
ab --- 損切り設定 ---	--- 損切り設定 ---
123 許容できる含み損の金額(円);損切りなしの場合は0を入力	0

--- トレーディング全般基本設定 ---

■初期エントリーロット設定

ロング・ショート共に1ポジション目で設定するロット数です。

■複利ロット機能ON/OFF

有効証拠金に対する複利機能のONとOFFを切り替えます。

■証拠金に対するロットステップ金額

設定した金額ごとにロットが0.01ずつ設定金額の分だけ上がっていきます。

初期ロットの計算式は下記の通りになります。

有効証拠金÷ロットステップ金額×0.01=複利機能時の初期ロット数

例)証拠金30万円・ロットステップ金額30万の場合

設定ロットが0.01となり、証拠金が60万になると0.02ロットに引き上がる

■Exness:XAUUSD設定 *FUSION TRAILSファイルのみに搭載

Exnessのゴールドで使用する際にtrueにすることでpips数計算が最適化されますので利確設定の部分で入力桁数を調節する必要なく稼働できます。

■最大ポジション数

初期エントリーポジションを含め、合計でポジションをいくつまで取るかの設定です。ポジションの総数ですので、15の場合はロング（買い）合計で最大15ポジション、ショート（売り）合計で最大15ポジションとなります。

■スリッページ

注文価格レートと約定価格レートとの誤差の許容範囲です。

■マジックナンバー

EA固有番号を表すもので、他EAと併用する場合はこの数値を競合しないようにします。

--- ピラミッティング・ナンピン：エントリー幅/加算ロット設定 ---

■ピラミッティングエントリーの間隔

ピラミッティングエントリーされるpipsの間隔です。

40の場合は40pips間隔でピラミッティングエントリーしていきます。

■ピラミッティングエントリー加算ロット数

ピラミッティングエントリーする際に加算されるロット数で
前回エントリーされたポジションのロット数に対する加算するロット数になります。

■ナンピンエントリー幅

ナンピンエントリーされるpipsの間隔です。

■ナンピンエントリー加算ロット数

ナンピンエントリーする際に加算されるロット数で
前回エントリーされたポジションのロット数に対する加算するロット数になります。

デフォルト設定では、初期エントリーロット数の2倍に設定しています。

■現在レートからの距離

初期ポジのstop注文を発注する際に現在のレートからどれくらい離れたレートで
ロング・ショートのポジションのstop注文をするかの設定です。

初期のポジションはstop注文（逆指値注文）なのでロングポジションの場合ASKライン、
ショートポジションはBIDラインからのpipsになります。

■注文発注スプレッド上限

初期ポジの予約注文を発注する際のスプレッドの上限を設定できます。

いわゆるスプレッドフィルターの役目となり、
スプレッドが広い時にstop注文が入るのを防ぐことができます。

---利確設定・片側決済設定 ---

■利確決済金額（円）

約定されたポジション合計または片側ナンピン中のポジション合計の決済金額の設定で、
その都度ロングのみ決済、ショートのみ決済、ロングとショート全決済の中で
最適なパターンを自動判別して決済します。

また、ロング・ショート合計で4ポジ以上から1ポジ増える毎に設定した金額分が加算されていきますので、**ポジション数が多いと決済金額も大きく**なります。

■片側決済実行ポジション数

両建てエントリー中にロングのみ、またはショートのための決済を実行する指定ポジション数です。

6の場合は、ナンピンポジションを含め、6ポジ目となるピラミッティングポジションがエントリーされたタイミングで片側のポジション全てが決済されます。

これにより、ロングとショートで同ポジションずつエントリーしたままいつもまでも決着がつかずに利確できないといった状況から抜け出すことが可能になり、片側決済したポジションは爆益となります。

--- トレーディング補助機能設定 ---

■プライスアクション型変則ナンピンエントリー

ナンピンモードでナンピンポジションを取る場合のエントリー制御です。
trueにすると予め設定されているナンピン幅に加え、さらにその時々値動きに応じてナンピンしますので、値動きが激しい時にはエントリーを控えるようになり、値動きが落ち着いて反転しそうな局面でナンピンエントリーが再開します。

■ボラティリティ警戒モード発動レベル【1:低め/5:高め】

相場のボラティリティを検知する感度のレベルです。

1は低めなのでかなり大きなボラでない限りは警戒モードはONにはならず、5は高めなので基本的に常に警戒モードがONの状態となります。
なお、警戒モードのON/OFFについては15分毎に再計算して切り替わります。

■ボラティリティ警戒時ナンピン幅の倍率

ボラティリティ警戒モードがオンになった時のナンピン幅に掛かる倍率です。
ナンピン幅を35pipsに設定中でこの数値が2.5の場合は $35 \times 2.5 = 87.5$ なので87.5pips毎にナンピンエントリーしていきます。

--- 損切り設定 ---

■ 損切り金額

損切りの設定金額をお使いの口座通貨で設定します。

円建て口座で10万円の含み損が出た時に損切りしたい場合は100000.0、

ドル建て口座で1,000ドルの含み損が出た時に損切りする場合は1000.0と入力します。

ab --- 稼働制御機能の設定 ---		--- 稼働制御機能の設定 ---	
	月曜日：システム稼働の可否		true
	月曜日：Daytimeエントリー開始時間帯（サーバー時間）		0
	月曜日：Daytimeエントリー停止時間帯（サーバー時間）		12
	月曜日：Nighttimeエントリー開始時間帯（サーバー時間）		13
	月曜日：Nighttimeエントリー停止時間帯（サーバー時間）		23
	火曜日：システム稼働の可否		true
	火曜日：Daytimeエントリー開始時間帯（サーバー時間）		0
	火曜日：Daytimeエントリー停止時間帯（サーバー時間）		12
	火曜日：Nighttimeエントリー開始時間帯（サーバー時間）		13
	火曜日：Nighttimeエントリー停止時間帯（サーバー時間）		23
	水曜日：システム稼働の可否		true
	水曜日：Daytimeエントリー開始時間帯（サーバー時間）		0
	水曜日：Daytimeエントリー停止時間帯（サーバー時間）		12
	水曜日：Nighttimeエントリー開始時間帯（サーバー時間）		13
	水曜日：Nighttimeエントリー停止時間帯（サーバー時間）		23
	木曜日：システム稼働の可否		true
	木曜日：Daytimeエントリー開始時間帯（サーバー時間）		0
	木曜日：Daytimeエントリー停止時間帯（サーバー時間）		12
	木曜日：Nighttimeエントリー開始時間帯（サーバー時間）		13
	木曜日：Nighttimeエントリー停止時間帯（サーバー時間）		23
	金曜日：システム稼働の可否		true
	金曜日：Daytimeエントリー開始時間帯（サーバー時間）		0
	金曜日：Daytimeエントリー停止時間帯（サーバー時間）		12
	金曜日：Nighttimeエントリー開始時間帯（サーバー時間）		13
	金曜日：Nighttimeエントリー停止時間帯（サーバー時間）		23

■ 月曜日～金曜日：システム稼働の可否

Daytime&Nighttime：エントリー開始時間帯・エントリー停止時間帯

trueにするとエントリーし、falseにするとその曜日はエントリーしませんので
エントリーしたい曜日をtrueにし、エントリーしたくない曜日をfalseにしてください。

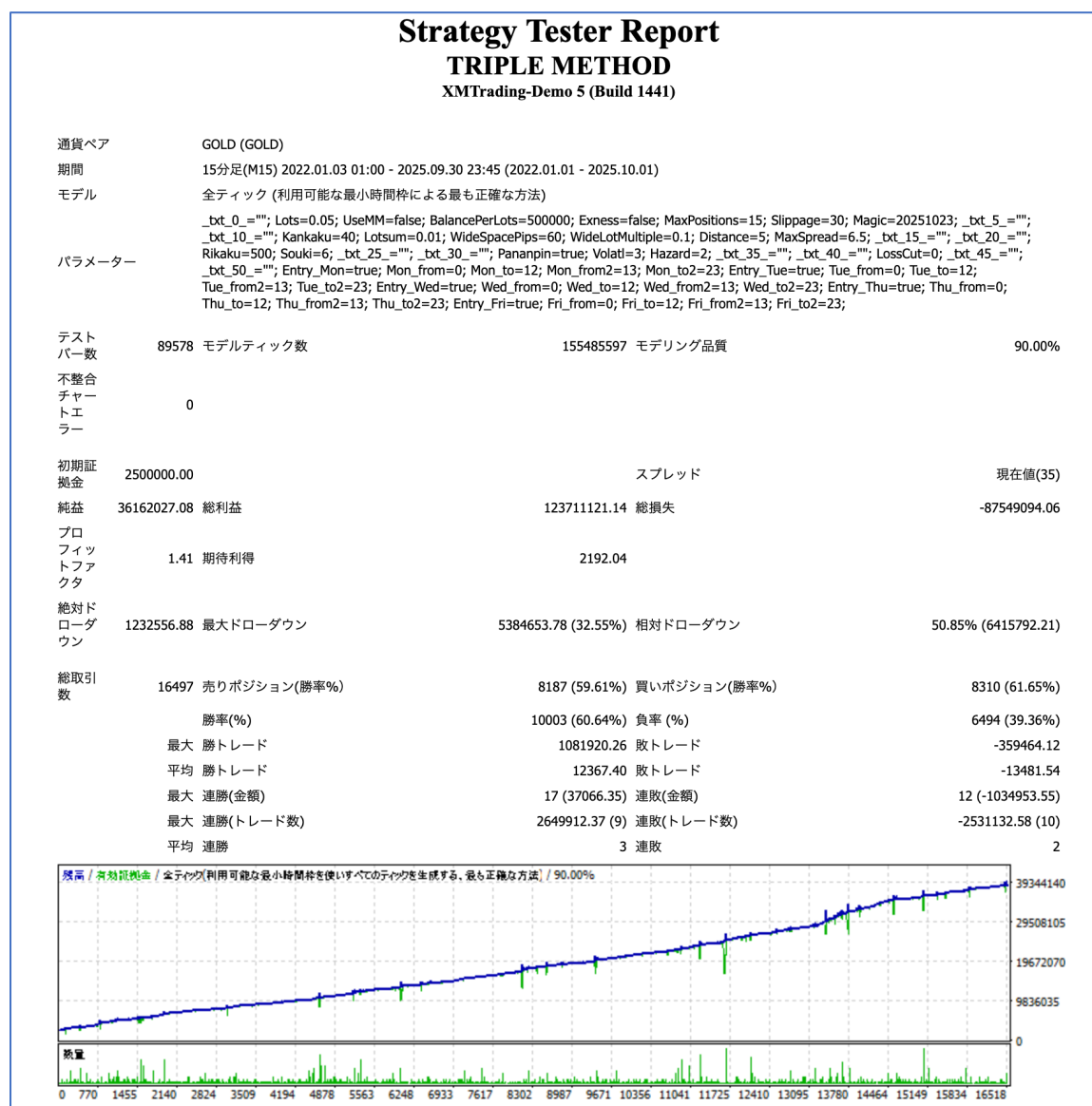
サーバー時間ベースで日中及び夜間のそれぞれの時間帯において
開始時間帯と停止時間帯を設定できます。

なお、停止時間帯については**入力した時間帯を含みます**ので、
例えば23と入力すると23:59まではエントリーします。

バックテスト結果について

当システムのバックテスト結果を掲載しておきます。

今回は2022年1月から2025の年8月末までの20年ぶりの超円安相場から
トランプ関税相場までをテスト期間として計測しました。



*XMTrading MT4 Build1441 XMTradingティックデータにて計測

2022～2025年9月末の3年9ヶ月で利益は約3616万円、想定月利は約32%となります。
利確数は多い傾向にありますが、ボラティリティ警戒モードがオンの時とオフの時の利確
計算が変わりますので、爆益もありつつコツコツ積み上げていく傾向となります。

稼働する上での注意点について

予約注文を発注後、ポジションがエントリーされて予め設定しておいた利確金額に到達すると自動的に全決済が行われます。

その際、エントリーしているポジションが多い時は、決済金額に対して上振れ又は下振れが起こることがあります。

今作については、TPによる決済ではなく、成行決済となりますのでポジション数が多い場面での決済は、同時に処理されるわけではなく
1つつつポジションの決済処理が行われるためです。

そこを鑑みて、決済の順番をロット数が大きい方から決済される仕様しております。

当然、毎回大きなブレが起こるわけではありませんが、特に値動きが激しい時に利確金額に到達した場合は限りなくブレが生じやすくなります。

ナンピン系のEAにおいて複数のナンピンポジション保有時の決済でトータルでマイナスになってしまった経験をされたことがある場合は想像がつくかと思いますが、当システムでも同様のことが起こり得ます。

まして当システムの場合は、決済基準となるレートがASKとBIDの両方になります。



図のようにロングポジションではASKラインを基準として決済され、ショートならBIDラインを基準に決済します。

これが決済時にこのレートが止まっている状態であれば問題はないのですが
全てのポジションが決済し終わるまでの間にも常に値動きを繰り返していますので
その関係で上振れや下振れが生じることがあります。

特にポジション数が多くなった時の決済では、レートの値動きの影響を受けやすいため
ポジション数に応じて利確金額が自動調整されるようにしております。

具体的にはロング・ショート of 約定ポジション数が4つ以上になると
4 ポジ目から利確金額に設定している金額分が加算されるようにしておりますので
ポジション数が多くなったことによるマイナス決済の対策になるかと思います。

とはいえ、上振れや下振れを完全に防ぎ切ることは難しいため
その点についてはご留意下さい。

***** 注意事項（必ずお読み下さい） *****

■管理人を含む運営（以下当方）は、できるかぎりユーザー様にとって有益な情報を発信していきますが、その正確性を保証するものではありません。当システムにつきましては、万全を期してご提供いたしますが、バグや不具合がないことを保証するものではありません。

■当方が、発信する情報や指定した証券会社、またはEAを利用することにより利用者が何らかのトラブルや損害を被った場合も当方は責任を負うことはなく、いかなる賠償にも応じません。

■FX・CFDを含む証拠金取引は、少なからずリスクを伴う投資商品ですので、運用においては必ず余剰資金で行うようにして下さい。どんなに優れたシステムであったとしても100%勝ち続けられるという保証は一切ございません。

以上、投資という性質上、元本が保証されているわけではなく、損失を被る可能性があるということを十分にご理解いただいた上で当システムの導入及び稼働をお願い致します。

2025年9月 制作



制作・開発：株式会社ウィルフロンティア

Forex戦略.com Teamチャートラボ